

Tokyo Metropolitan Theatre Art Programs for Multiculturalism

東京芸術劇場

多文化共生とアートに関するリサーチ

1 2022 10 | 26 WED

インターナショナルイスラミーヤ
スクール大塚の児童による影遊び
「ニュー・トーキョー・アラベスク」

2022年10月26日[水] ※非公開
協力:日本イスラーム文化センター

2 2022 10 | 30 SUN

日本語を学ぶ若者たちのポートレイト
「東京と変身」

2022年10月30日[日] / 東京芸術劇場シンフォニースペース
協力:学校法人香川学園メロス言語学院

3 2023 1 | 7 SAT

海外ルーツの母たちの声を聴く
「わたしのこもりうた」

2023年1月7日[土] / 東京芸術劇場シンフォニースペース
協力:NPO法人 Mother's Tree Japan

東京

東京
芸術劇場

Tokyo
Metropolitan
Theatre

〔東京影絵 / Tokyo shadow puppet theater〕(川村亘平齋 + 宮本武典) ©東京ビエンナーレ2020/2021

と 変身 他、影絵掌編

Metamorphosis in Tokyo and Other Shadow Plays

企画・構成
宮本武典
(キュレーター / 東京藝術大学准教授)

影絵と音楽
川村亘平齋
(影絵師 / ミュージシャン)

〔協力〕日本イスラーム文化センター・学校法人香川学園メロス言語学院・NPO法人 Mother's Tree Japan 〔主催〕公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場

東京 芸術 劇場

Tokyo
Metropolitan
Theatre



Tokyo Metropolitan Theatre Art Programs
for Multiculturalism

影絵であらわす池袋の多文化空間

2022年現在、東京には海外にルーツをもつ人々が数多く暮らしています。国籍や言語、習慣や文化が異なる人々が生きる日本社会に潜む多くの課題について、アートはどのようにアプローチが出来るのか。アーティストと海外ルーツの人々との共同制作を通して、多文化社会の課題とアートの可能性に迫ります。

キュレーターの宮本武典と影絵師の川村亘平斎は、福島第一原発事故被災地やタイの孤児たちが暮らす児童福祉施設など、生活の再建・再生をめざすコミュニティと協働して、“当事者たち”の声を届ける影絵芝居を現地制作してきました。本作品「東京と変身」他、影絵掌編では、劇場のある池袋界隈の多文化状況を調査するとともに、この地に根ざそうとする海外ルーツ・コミュニティと3つの影絵の小作品を公開制作し、文化や母語が異なる人々がともに生きる「あたらしい東京」をスクリーンに映し出していきます。



撮影:Kohei Shikama

企画・構成

宮本武典

キュレーター。東京藝術大学准教授。海外子女教育振興財団の派遣プログラムでバンコク赴任、武蔵野美術大学パリ賞受賞により渡仏、原美術館学芸部を経て2005年に東北芸術工科大学へ。2019年3月まで同大学教授・主任学芸員を務め、東北各地でアートプロジェクトや東日本大震災の復興支援事業を展開。2014年に「山形ビエンナーレ」を創設しプログラムディレクションを3期にわたって手がける(〜2018年)。2019年に角川武蔵野ミュージアム(隈研吾氏設計)開館事業にクリエイティブディレクターとして参加したのち、2020年から国際芸術祭「東京ビエンナーレ」プロジェクトディレクターとして首都圏でキュレーションを展開中。2022年に東京藝術大学美術学部絵画科油画専攻准教授に着任。



撮影:小暮哲也

影絵と音楽

川村亘平斎

影絵師、ミュージシャン。インドネシア共和国・バリ島にのべ2年間滞在し、影絵人形芝居「ワヤン・クリット」と伝統打楽器「ガムラン」を学ぶ。アジアを中心に世界各国で影絵と音楽のパフォーマンスを発表。また、日本各地でフィールドワークやワークショップを通じて、土地に残る物語を影絵作品として再生させる活動に取り組む。ガムランを使った音楽ユニット「滞空時間」主宰。第27回五島記念文化賞美術新人賞受賞(2016)。

東京と

Metamorphosis in Tokyo

変身他、影絵掌編

and Other Shadow Plays

(掌編1)

「ニュー・トーキョー・アラベスク」

インターナショナルイслаミーヤスクール大塚で影絵の出張授業。東京の未来を生きる多国籍ムスリムの子らと、モザイク化するこの街を描く。

日時 | 2022 10 | 26 WED ※非公開

協力 | 日本イスラーム文化センター

(掌編2)

「東京と変身」

日本語学校が集積する池袋。母国を離れ日本での就職・就学を目指す若者たちが、それぞれの東京での姿を物語る。

日時 | 2022 10 | 30 SUN 15:30-17:00 予定(開場15:15)

会場 | 東京芸術劇場 シンフォニースペース

協力 | 学校法人香川学園 メロス言語学院

■ 鑑賞申込 *下記URLよりお申込ください。

(掌編2)「東京と変身」

<https://ws.formzu.net/fgen/S618693644/>

こちらよりご確認ください



(掌編3)

「わたしのこもりうた」

海を渡り、東京で出産・育児に奮闘する4人の母たち。ミャンマー、ベトナム、タイ、中国の女性たちの声を映す。

日時 | 2023 1 | 7 SAT 15:00-16:30 (開場14:30)

会場 | 東京芸術劇場 シンフォニースペース

ゲスト | 嶺川貴子(ミュージシャン)

協力 | NPO法人 Mother's Tree Japan

■ 鑑賞申込 *下記URLよりお申込ください。

(掌編3)「わたしのこもりうた」

<https://ws.formzu.net/fgen/S18919013/>

こちらよりご確認ください



※お申込み時にいただく個人情報、本事業以外の目的には使用しません。

お問合せ: 東京芸術劇場 教育普及担当

TEL: 03-5391-2111(代表) メール: workshop@geigeki.jp



「東京影絵 / Tokyo shadow puppet theater」
(川村亘平斎+宮本武典) ©東京ビエンナーレ2020/2021

プロジェクトメンバー: 王岐令、齋藤里咲、佐野ちあき、穴野凜々子、張藝逸、
小山彩花、新井ひかる、松本知珠、柏木俊彦、関根好香

参与観察: 楊淳婷 撮影記録: 志録康平、河内彰 主催: 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場
宣伝美術: 樋口舞子